

2018年度（2019年3月期） 第1四半期決算 説明

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next

I. 2018年度第1四半期決算の概要

**全体概要、グループ別、売上収益・営業利益増減内訳、
海外地域別、受注・立上状況、協創プロジェクト、業態別業績**

II. トピックス

**保税物流センター(PLB)ライセンス取得、
イノベーションセンター開設(英国)、
ダブル連結トラックの導入**

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2017年度		2018年度				
	第1四半期		第1四半期			通期	
	実績	実績	前年同期比		計画 (4.27時点)	前期比	
			比率	増減			
売上収益	1,689	1,748	104%	59	7,100	101%	
営業利益	<3.9> 65.6	<4.2> 74.2	113%	8.6	<4.4> 310.0	104%	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<4.7> 79.3	<4.6> 80.7	102%	1.4	<4.9> 347.0	105%	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<2.8> 47.8	<2.9> 50.5	106%	2.7	<3.0> 215.0	103%	

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

通期計画は変更なし

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は増減差)

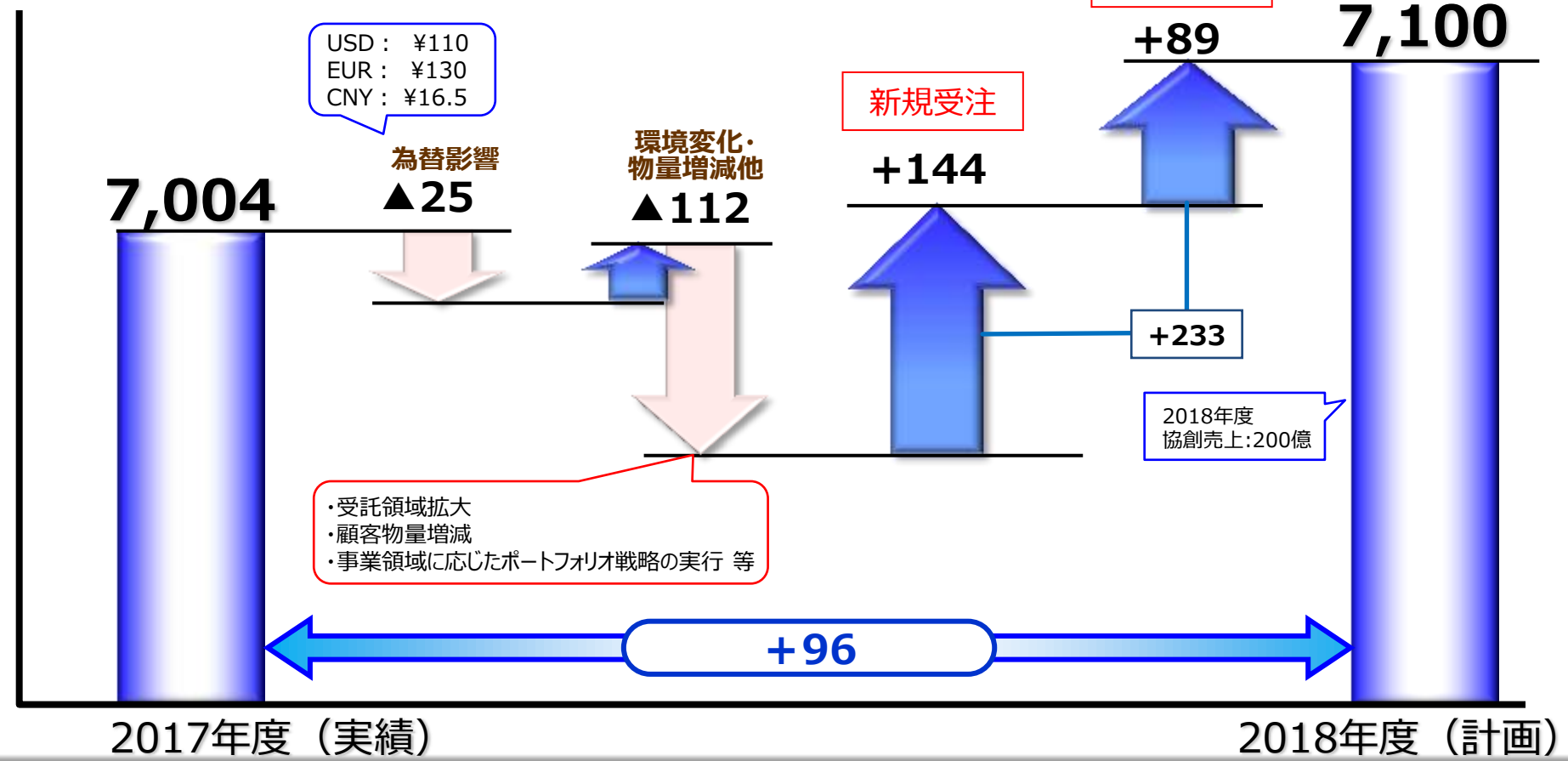
		売上収益			営業利益		
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	前年同期比		
オーガニック	国内物流	<58>	880	103%	48.0	109%	
	国際物流	海外	<30>	445	102%	15.8	129%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<9>	133	112%	✓ -0.0	(-0.9)
	計	<38>	577	104%	15.7	負担増(-0.8億)を含む 120%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	50	99%	2.5	66%	
計		<100>	1,507	104%	66.2	109%	
バンテックグループ	国内物流	<66>	179	104%	7.7	129%	
	国際物流	海外	<34>	93	102%	2.9	209%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<0>	0	-	0.0	-
	計	<34>	93	101%	2.9	209%	
計		<100>	271	103%	10.6	144%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-30	(-1)	-2.6	(+0.0)	
合計	国内物流	<60>	1,051	103%	53.6	112%	
	国際物流	海外	<30>	523	102%	18.2	138%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<7>	125	114%	-0.0	(-0.9)
	計	<37>	648	104%	18.1	130%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	48	98%	2.5	66%	
計		<100>	1,748	104%	74.2	113%	

✓ 国内会社計上分(フォワーディング他)は全社費用配分方法の一部変更により、前年より0.8億円負担が増加。(前年ベースでは営業利益は0.8億円)

売上収益 (計画)

(億円)

2018年4月27日：決算発表資料より



第1四半期 売上収益実績

(億円)

17/1Q → 18/1Q

- ・USD: ¥111 → ¥109
- ・EUR: ¥122 → ¥130
- ・CNY: ¥16.2 → ¥17.1

- ・国内/その他事業 : ▲23億
- ・フローティング/海外事業 : ▲4億
- ・受託領域拡大 : +12億

- ・国内 : +16億
 - ・国際 : +15億
- (内、プロジェクトカーゴ)
- ・国内 : +8億
 - ・国際 : +9億

環境変化・物量増減
・恒常施策他

▲15

為替影響

+10

新規受注
+31

協創
+33

1,748

+64

18/1Q
協創売上:44億

1,689

+59

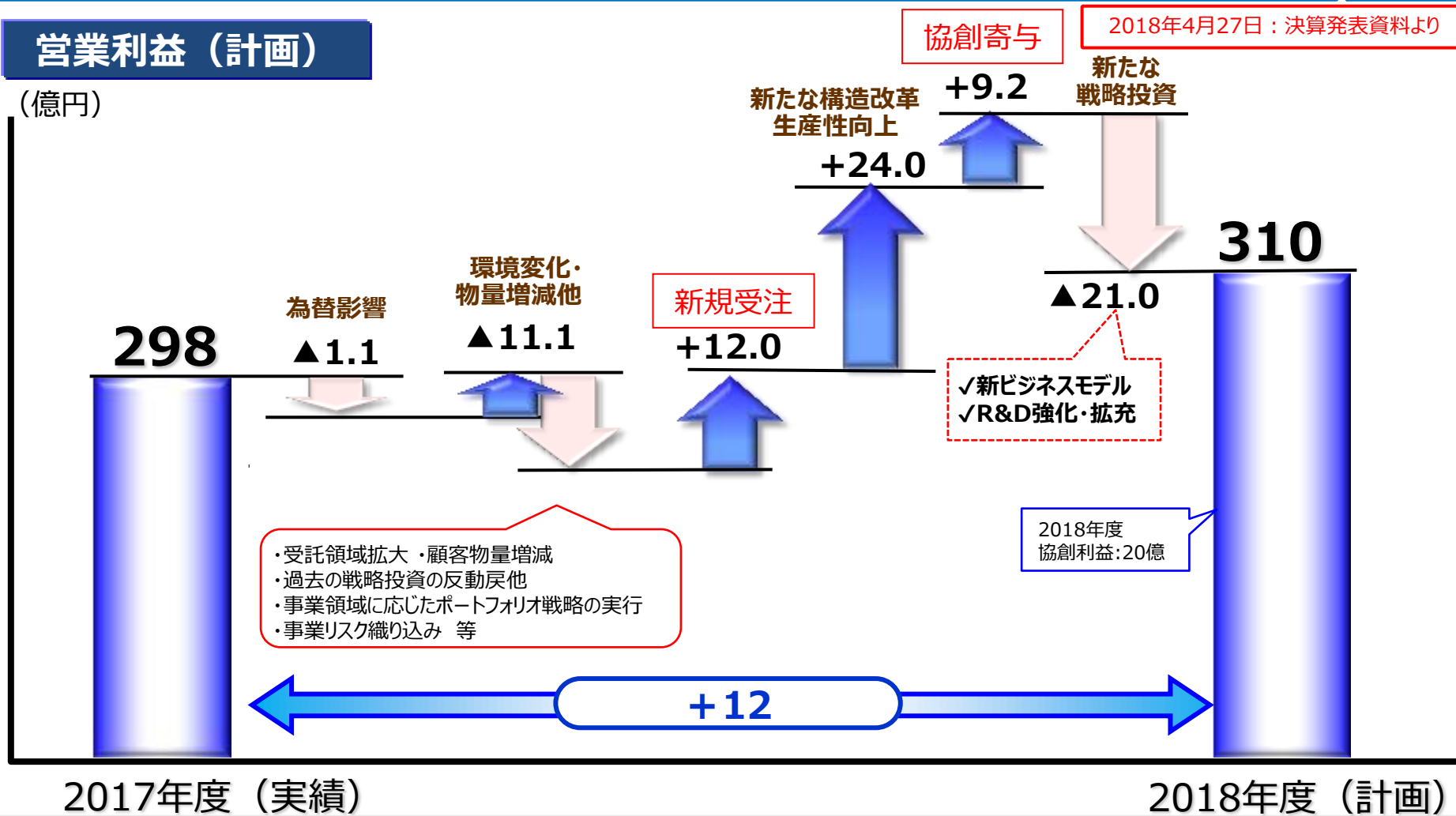
項目	為替影響	環境変化・物量増減・恒常施策等			新規受注	協創案件	計
		その他物量増減他	受託領域拡大	小計			
国内		-21	9	-12	16	31	35
国際	10	-4	3	-1	15	1	25
その他		-2		-2		1	-1
計	10	-27	12	-15	31	33	59

2017年度 1 Q(実績)

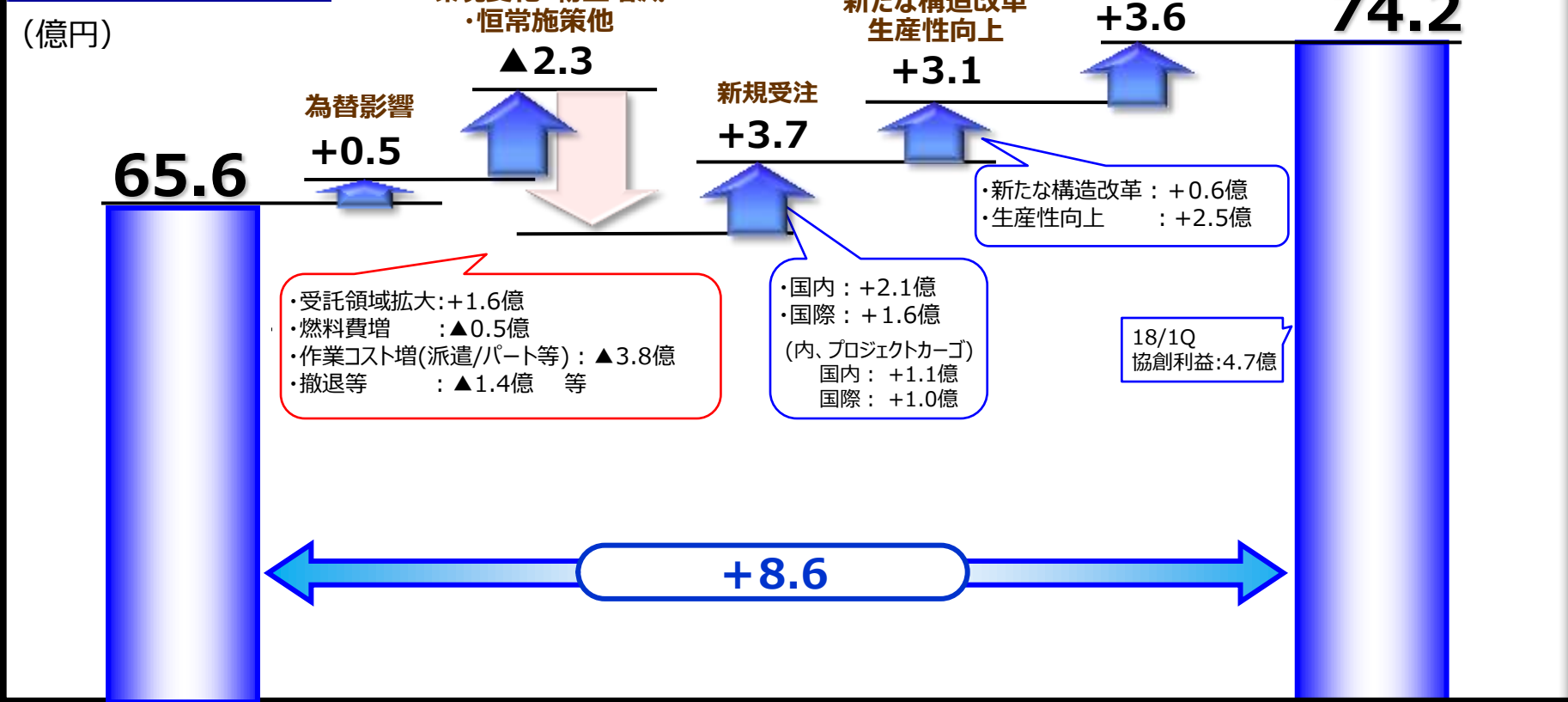
2018年度 1 Q(実績)

営業利益 (計画)

(億円)



第1四半期
営業利益実績



2017年度 1 Q(実績)

2018年度 1 Q(実績)

(単位：億円、端数四捨五入)

項目		2017年度		2018年度			
		第1四半期		第1四半期			
		売上収益	営業利益	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
海外	北米	106	1.7	112	106%	3.2	188%
	欧州 ^{※1}	169	7.7	181	107%	9.7	126%
	アジア(中国除く)	99	3.8	113	114%	4.9	129%
	中国	144	1.8	123	85%	2.4	132%
	オセアニア他	9	0.4	10	107%	0.6	152%
	連結消去等 ^{※2}	-14	-2.3	-14	-	-2.6	-
計		513	13.2	523	102%	18.2	138%

※1. トルコは欧州に含む

※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む

2018年度1Q：受注・立上状況

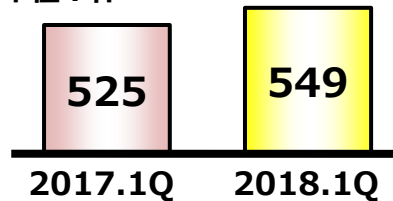
単位：件

		2017年度	2018年度	
		第1四半期	第1四半期	前年同期増減
受注	国内	2	3	1
	国際	4	4	0
	計	6	7	1
立上	国内	1	5	4
	国際	1	2	1
	計	2	7	5

(参考) 国内本部受注件数の推移 <新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>

*** 地域密着営業の強化により、地域における案件獲得は着実に進展**

単位：件


2017.1Q
2018.1Q

- ・10M¥未満案件：523件(継続:80件 単発:443件)→546件(継続:52件 単発:494件)
- ・10M¥以上案件： 2件(継続: 1件 単発: 1件)→ 3件(継続: 1件 単発: 2件)

シームレスな総合物流サービスの実現に向けた協創・協業の推進

項目			2017年度				2018年度			
			1Q実績		通期実績		1Q実績		通期計画	
			売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益
国内	3PL・輸送	クロスセル・効率化	9	0.8	101	9.7	40	4.2	-	-
	その他	重量・機工 等	0	0.0	1	0.2	0	0.0	-	-
	小計		9	0.9	103	9.9	41	4.2	186	18.4
国際	3PL・輸送	クロスセル・効率化	0	0.0	1	0.1	0	0.1	-	-
	その他	重量・機工、フォワーディング等	1	0.1	6	0.7	2	0.3	-	-
	小計		1	0.1	7	0.8	2	0.3	11	1.2
その他	その他	車両リース、トラベル事業等	0	0.0	2	0.1	1	0.2	-	-
	小計		0	0.0	2	0.1	1	0.2	3	0.4
協創効果	3PL・輸送	クロスセル・効率化	9	0.8	102	9.8	41	4.2	-	-
	その他	重量・機工、フォワーディング等	2	0.2	9	1.0	3	0.5	-	-
	協創効果 ()内は営業利益率		(9.4%) 11	1.0	(9.7%) 111	10.8	(10.6%) 44	4.7	(10.0%) 200	20

■ 通期計画に対する進捗率 : 22% 23%

クロスセル案件の協業推進

■ 2018年度の主な稼働案件

～稼働済～

- ・ 4月：流通・小売
- ・ 5月：アパレルメーカー
- ・ 6月：飲料メーカー
- ・ 7月：シューズメーカー

～稼働予定～

- ・ 8月：食品メーカー
- ・ 8月：シューズメーカー
- ・ 9月：食品メーカー
- ・ 11月：出版社 他

■ 提案中案件

- ・ アパレルメーカー
- ・ 流通・小売
- ・ 化粧品メーカー
- ・ 出版社
- ・ 化学メーカー 他

約200億円(年間寄与)

参考資料
業態別実績 (概算値)

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く

(単位：億円)

	2017年度 第1四半期			2018年度 第1四半期			2018年度 通期計画(4.27時点)			
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	
3PL	国内	852	40.1	4.7% (4.7%)	883	45.7	5.2% (5.2%)	3,637	180.6	5.0% (5.0%)
	海外	300	14.4	4.8% (5.1%)	327	14.8	4.5% (4.9%)	1,312	59.6	4.5% (4.9%)
	3PL	1,153	54.5	4.7% (4.8%)	1,210	60.5	5.0% (5.1%)	4,949	240.2	4.9% (5.0%)
フォワーディング	国内	111	1.0	0.9% (1.9%)	124	0.3	0.3% (1.1%)	518	7.5	1.4% (2.3%)
	海外	156	1.6	1.0% (2.0%)	140	1.8	1.3% (2.1%)	491	8.3	1.7% (2.8%)
	フォワーディング	267	2.6	1.0% (1.9%)	264	2.1	0.8% (1.6%)	1,009	15.8	1.6% (2.5%)
オート	国内	163	3.1	1.9% (3.2%)	170	5.8	3.4% (4.7%)	707	26.0	3.7% (4.9%)
	海外	57	0.8	1.5% (1.9%)	56	2.1	3.8% (4.2%)	220	7.1	3.2% (3.7%)
	オート	220	4.0	1.8% (2.9%)	226	7.9	3.5% (4.6%)	927	33.0	3.6% (4.6%)
その他サービス	48	4.6	9.5% (9.5%)	48	3.7	7.7% (7.7%)	215	20.9	9.7% (9.7%)	
合計	1,689	65.6	3.9%	1,748	74.2	4.2%	7,100	310.0	4.4%	

※ 全社費用の配分方法を一部変更。尚、上記実績値と計画値は当該変更を反映した数値。

インドネシア東ジャワ州で日系企業初となる保税物流センター(PLB※)ライセンスを取得

■ PLBの主な特徴

項目	PLB	従来 of 保税倉庫
非居住者 在庫	可能	不可能
課税の タイミング	PLBからの 搬出時点	当初の 蔵置時点
保管可能 貨物	輸出入貨物・ 製造に関する現地貨物	輸入貨物のみ
1ライセンスに おける荷主	複数荷主の 取扱可能	1荷主のみ
可能な 作業	簡易作業、 修理、検査等	簡易作業のみ

※PLB：Pusat Logistik Berikat の略称

■ センター概要



センター名称	東ジャワ物流センター
倉庫面積/ PLBエリア	約75,000㎡(延床)/ 約11,000㎡(PLBエリア)
PLBライセンス対象	製造業(大企業)向け
ライセンス取得日	2018年5月2日

イノベーションセンター開設（英国）【開設時期：2019年4月(予定)】

■ 開設目的

- ・ 新技術のグローバル展開促進
- ・ トレーニングの充実による安全品質向上（ロスコスト削減）


■ センター機能

- ・ トレーニングセンター（フォークリフト等）
- ・ 産官学連携による新技術の研究・開発（R&D）および実証

物流は新領域へ

LOGISTEED

■ センター概要

名称	イノベーションセンター 
場所	英国サンダーランド市 (バンテックヨーロッパ 倉庫内)
面積	約800㎡ (2F：メザニン※仕様) ・既存倉庫一部スペースを活用

※倉庫内部空間の有効活用を目的とした中2階式の仮設の棚

【現状】(倉庫)



【イノベーションセンターへ改修】



Living Warehouse

(バーチャルフォークリフトトレーニングセンター) イメージ

ダブル連結トラックを導入【導入時期：2019年2月(予定)】

全長21m トレーラー連結・分割方式 ダブル連結トラック ⇒ **2セット導入**



特徴

- ・ トレーラーを切離すことで、フルトラックとセミトレーラに分割して運行可能
- ・ ウイング仕様のダブル連結トラック

導入効果

- ・ 積載可能荷量増加による原価低減
- ・ 長時間運行の削減による運行管理リスク低減
- ・ 運行台数削減によるCO2排出量削減

※本取組みは、「物流分野におけるCO2削減対策促進事業」(環境省補助事業〈国交省連携〉)として採択されています。